



企業と新しい未来

令和6年5月20日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

利便性の追求は、新しい企業製品における新しい現実を今日有する。冷徹に、その機能性を追求することは、新しい企業のシステム構築においてより優れた利益効率を企業が構築するものである。

これが今日のアメリカの現実なのである。彼らはコンピュータという現実において自己転換と、新しい可能性を有するのである。

これらは企業のシンプル化と効率化が、IT システム構築とともに、その飛躍を行うことなのである。

これらは新しい企業のスタンダードなのである。より優れた効率性と生産性における企業構築が新しい企業製品とともにその可能性の飛躍を行うことなのである。

これら新しい企業の形はそのより優れた自己現実への転換を与え、それらが実用性と効率性において優れるため、企業の高い利益性への転換を与えるのである。

これらはコンピュータエイジにおける新しい現実であり、他方においては社会と生活の転換がこれら企業製品とともに存在するのである。

これらは既存現実の完全な崩壊を与えているのである。これらは明らかにコンピュータの出現が、アナログ社会と手工業における現実の崩壊を与えていることなのである。

これらは新しいデジタル社会への転換であり、これらにおける製品要求は新しい自己基準と要求における企業への新しい要求を求めるのである。これらは先端 MBA システムの受領とともに、企業がグローバルスタンダードに準じた企業構築への転換を実現することを要求するものである。

これら遥かに優れる生産性と効率性における企業経営への転換とシステム構築の要求は、企業製品において新しい基準と技術基盤を有することにおいて企業がその飛躍を行うことができることを意味するものである。